

**「令和8年度富士山麓エリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくり事業支援業務委託」
【施策5「推進体制強化」及び施策6「マスタープラン改定・KGI / KPI測定」】提案書評価基準**

1 評価基準

- (1) 出席した審査委員（以下、「審査委員」という。）は、下表の評価項目についてはA～E（1点～5点）の5段階で評価する。
- (2) 評価の考え方は、別紙「評価の視点」とおとしとする。なお、提案書に評価項目に該当する記載が無い場合は1点とする。
- (3) 最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は審査委員の多数決により順位を決定する。
- (4) 最低評価基準の設定
提案内容が不十分であるにもかかわらず受託候補者として選定されないことがないよう、次のとおり最低評価基準を設ける。
- ・総合得点による基準
全ての評価項目の合計得点（満点100点）について、60点未満の提案は受託候補者として特定しないものとする。
 - ・提案内容に係る基準
「2 提案内容」の評価点（70点満点）について、40点未満の提案は、総合得点にかかわらず受託候補者として特定しないものとする。

2 評価項目

評価項目及び着目点		配点	加重倍率	評価点
1 業務遂行能力		15		15（小計）
(1) 類似事業の実績	過去に、観光庁「高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」又はこれと同種・類似の事業において、広域DMO等の体制構築支援やマスタープラン策定・改定支援の実績を有しているか。	5	-	5
(2) 業務実施体制	従事者の中に、DMO/DMCの設立又は運営に係る実績を有し、観光分野における資金調達及び損益管理、不動産活用、地域ステークホルダーとの合意形成等について、実務経験に裏付けられた高度な専門的知見及び遂行能力を有する人材が適切に配置されているか。	5	-	5
(3) 業務実施スケジュール	実施スケジュールは妥当か	5	-	5
2 提案内容		30		70
(1) 業務目的の理解度	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業のコンセプトや目的を十分に理解したうえで企画提案されているか。 ・WGとの連携及び協働を前提とし、他施策受託者と一体的に業務を実施する提案となっているか。 	5	×2	10
(2) 地域経営主体の設立に向けたロードマップの具体性と実現性	設立に向けた検討・準備・合意形成のステップが段階的に示されているか 【4業務内容（1）②】	5	×2	10
	令和9年度の地域経営主体の体制確立を目指し、法務（法人形態・契約関係）、財務（資金調達・収支構造）、組織ガバナンス（意思決定体制・責任分担）の観点から、現実的かつスピード感を有する工程表が示されているか（設立準備、関係者合意、制度設計等）。 【4業務内容（1）②】	5	×2	10
(3) 投資機能の構築に関する検討	投資機能の構築に向け、地域金融機関（地元地方銀行等）との連携等を前提とした投資・融資機能の導入について、関係者調整の方法、スキーム検討の手順、実装までのプロセス等を含めた、実現性の高い検討手法が提案されているか。 【4業務内容（1）②】	5	×2	10
(4) コアバリューを体現したマスタープランの改定	既存マスタープランにおける課題を的確に分析した上で、コアバリューを具体的な商品・サービス群（ウリ・ヤド・ヒト・アシ）の磨き上げ方針として再定義し、実効性ある内容へ改定する具体策が提案されているか。 【4業務内容（2）①】	5	×1	5
(5) マスタープランに定めるKGI/KPIの適切な測定・分析	単にアンケート結果や統計データを収集・整理して報告することとどまらず、その結果を踏まえて課題や改善点を整理・検討し、次年度以降の取組に適切に反映させるための、実効性ある目標管理及び進捗確認の仕組みが構築されているか。 【4業務内容（2）①】	5	×1	5
(6) 全体統括に関するマネジメントスキーム	他施策の受託事業者や関係機関との間で、適切な情報共有及び連携を図り、各事業が遅延することなくその成果が相互に補完され、全体としての事業効果が最大化される具体的かつ実効性のある連携手法が提案されているか（例：ワーキンググループの運営方法、進捗管理ツールの活用等）。 【4業務内容（3）】	5	×3	15
(7) 当該業務委託執行に係る効果測定	成果KPIは、業務目的に照らし、その達成度を適切に測定できる具体性・測定可能性を備えているか。【4業務内容（2）⑤】	5	×1	5
3 価格点		5		5（小計）
見積価格	積算の根拠や委託費の総額は妥当か。	5	-	5
4 その他		5		10（小計）
特記すべき提案	目的実現のための独自提案など、特記すべき提案があるか	5	×2	10
				100（合計）

「令和8年度富士山麓エリアにおける高付加価値なインバウンド観光地づくり事業支援業務委託」
【施策5「推進体制強化」及び施策6「マスタープラン改定・KGI / KPI測定」】提案書評価基準

評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価					加重倍率	評価点 (100点)	
		A	B	C	D	E			
		5	4	3	2	1			
業務遂行能力	(1)類似事業の実績	過去に、観光庁「高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」又はこれと同種・類似の事業において、広域DMO等の体制構築支援やマスタープラン策定・改定支援の実績を有しているか。	本事業と関連のある類似業務実績が5件以上ある	本事業と関連のある類似業務実績が2～4件ある	本事業と関連のある類似業務実績が1件ある	類似業務実績があるが、本事業とは関連が薄いものに限る	類似業務実績が無い	-	5
	(2)業務実施体制	従事者の中に、DMO/DMCの設立又は運営に係る実績を有し、観光分野における資金調達及び損益管理、不動産活用、地域ステークホルダーとの合意形成等について、実務経験に裏付けられた高度な専門的知見及び遂行能力を有する人材が適切に配置されているか。	特に優れており、万全の体制が組まれている	優れており、標準以上の体制が組まれている	妥当な体制である	十分とは言えないが、本業務の実施はできる	不安があり、本業務の実施が難しい	-	5
	(3)業務実施スケジュール	実施スケジュールは妥当か	十分検討されており高く評価できる	検討されており評価できる	検討されており妥当である	スケジュールに不安がある	スケジュールが整っていない	-	5
	(1)業務目的の理解度	・本事業のコンセプトや目的を十分に理解したうえで企画提案されているか。 ・WGとの連携及び協働を前提とし、他施策受託者と一体的に業務を実施する提案となっているか。	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×2	10
	(2)地域経営主体の設立に向けたロードマップの具体性と実現性	設立に向けた検討・準備・合意形成のステップが段階的に示されているか 【4業務内容(1)②】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×2	10
		令和9年度の地域経営主体の体制確立を目指し、法務(法人形態・契約関係)、財務(資金調達・収支構造)、組織ガバナンス(意思決定体制・責任分担)の観点から、現実的かつスピード感を有する工程表が示されているか(設立準備、関係者合意、制度設計等)。 【4業務内容(1)②】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×2	10
	(3)投資機能の構築に関する検討	投資機能の構築に向け、地域金融機関(地元地方銀行等)との連携等を前提とした投資・融資機能の導入について、関係者調整の方法、スキーム検討の手順、実装までのプロセス等を含めた、実現性の高い検討手法が提案されているか。 【4業務内容(1)②】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×2	10
	(4)コアバリューを体現したマスタープランの改定	既存マスタープランにおける課題を的確に分析した上で、コアバリューを具体的な商品・サービス群(ウリ・ヤド・ヒト・アシ)の磨き上げ方針として再定義し、実効性ある内容へ改定する具体策が提案されているか。 【4業務内容(2)①】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5
	(5)マスタープランに定めるKGI/KPIの適切な測定・分析	単にアンケート結果や統計データを収集・整理して報告することとどまらず、その結果を踏まえて課題や改善点を整理・検討し、次年度以降の取組に適切に反映させるための、実効性ある目標管理及び進捗確認の仕組みが構築されているか。 【4業務内容(2)①】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5
	(6)全体統括に関するマネジメントスキーム	他施策の受託事業者や関係機関との間で、適切な情報共有及び連携を図り、各事業が遅延することなくその成果が相互に補完され、全体としての事業効果が最大化される具体的かつ実効性のある連携手法が提案されているか(例:ワーキンググループの運営方法、進捗管理ツールの活用等)。 【4業務内容(3)】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×3	15
(7)当該業務委託執行に係る効果測定	成果KPIは、業務目的に照らし、その達成度を適切に測定できる具体性・測定可能性を備えているか。【4業務内容(2)⑤】	特に優れている	優れている	標準的である	やや不十分	不十分	×1	5	
価格点	見積価格	積算の根拠や委託費の総額は妥当か。	積算が細分化され、根拠も明確であり、高く評価できる	根拠は明確であり、評価できる	妥当である	根拠が曖昧である	根拠が著しく曖昧であり、事業遂行に不安がある	×1	5
その他	特記すべき提案	目的実現のための独自提案など、特記すべき提案があるか	特に優れた独自提案である	優れた独自提案である	標準的な独自提案である	不十分な独自提案である	独自提案が無い	×2	10